

武蔵野市赤十字奉仕団による  
武蔵野赤十字病院向けマスクの製作について（報告）

1 概要

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、医療機関向けマスクが不足している状況である。武蔵野赤十字病院においても同様の状況であるため、日本赤十字社東京都支部からマスク製作について協力の打診があった。武蔵野市赤十字奉仕団（以下、「奉仕団」）において検討した結果、本要請に応じ、奉仕団がマスクを製作し、武蔵野赤十字病院へ寄付するものである。

2 実施について

- ① 4月17日（金）にサンプルが届き、本日20日（月）から試行的に実施する。
- ② 日本赤十字社東京都支部が部材を用意し、奉仕団に配送する。
- ③ 当初の製作枚数は週700枚程度で、三鷹市及び小金井市奉仕団と合わせて週2,000枚を確保する見込みである。数量に応じて製作にあたる奉仕団員の協力を募ることとする。
- ④ 製作するマスクは医療用高機能マスクではないが、手術等に使用される服の繊維を素材とするため、防水・抗菌機能は高いものである。主に事務作業時に使うことを想定している。
- ⑤ 各自の作業は自宅で行うこととし、受け渡しについてもポストを利用するなど、団員間の接触は最小限に抑える工夫をする。
- ⑥ 完成したマスクは、最終的に病院で滅菌した後に使用する。

<完成見本>



表（外側）



裏（内側）